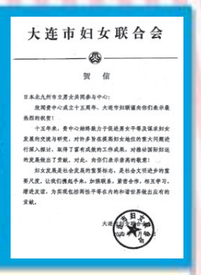
おかげさまで ムーブは 開所15周年!

大連市から15周年の祝状をいただきました

大連市からの訪問団（2009）



大連市妇女联合会

賀　信

日本北九州市立男女共同参与中心：

欣闻贵中心成立十五周年，大连市妇联谨向你们表示最热烈祝贺！

十五年来，贵中心始终秉承于促进男女平等及保障妇女某权的宗旨开展，对外多方面展现妇女地位的重大同盟进行深入探讨，取得了富有成效的工作成果，对推动国际妇女事业做出了贡献。对此，向你们表示诚挚的感谢！

妇女发展是社会发展的重要标志，是社会文明进步的重要尺度。以我们携手共、加强联系、聚焦合作，相互学习，增进友谊，为实现包括两性平等在内的和谐世界做出应有的贡献。

大连市妇女联合会

主な出来事

1995▸
7月「北九州市立女性センター」として開所

2002▸
「女性センター」から「男女共同参画センター」へ名称変更

2008▸

来館者400万人達成

ムーブのインチョン・デー

2009▸
ムーブミュージカル『扉（ドア）の向こうに』公演

全国女性会館協議会 第4回事業企画大賞 特別賞　受賞（2010）

DVD発売中

2010▸
開所15周年『「ムービング」誌上講座 15年の歩み』発行

催事・講座

ムーブフェスタ（1995～）

パソコン講座（1995～）

女性起業家 支援塾（1996～）

男性学（おとこのライフセミナー）（1997～）

父（親）と子の食育講座（1998～）

ムーブ就活塾（2009～）

など

出版物

『ジェンダー白書 1～7』

『ジェンダー白書別冊 北九州市の男女共同参画 統計データ集 2008』

『女子差別撤廃条約［名駅コンクール入選作品集］』
※パネルの貸し出しもしています

『男女共同参画 マンガコンクール』

『Cutting-Edge 総集編版』

『世界中のひまわり姫へ』（日本語版・英語版・韓国語版）

『進メ、理系女子。』（内閣府助成事業）

Mother Tells about "the Women's Convention"　など

編集後記

観測史上初といわれた猛暑もようやく終わりました。今年、ムーブは15周年を迎えました。これからも多様な講座や事業を通して、みなさまに男女共同参画をアピールしたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。

北九州市立男女共同参画センター ムーブ
〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号
TEL.093-583-3939　FAX.093-583-5107
ホームページアドレス ◆ http://www.kitakyu-move.jp
E-mail ◆ move@move-kitakyu.jp

平成18年度から北九州市立男女共同参画センター "ムーブ" の指定管理者

Kitakyushu Forum on Asian Women
財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム

アクセス
- JR西小倉駅より徒歩　約15分
- 西鉄バス→「九州厚生年金会館・ムーブ前」下車
  小倉駅バスセンター　小倉都心100円周遊バス　27 45 110 134 138　小倉駅前　76 79
- 北九州都市高速　勝山ランプ・大手町ランプ出口より約3分

PRINTED WITH SOY INK
この冊子は再生紙及び環境に優しい大豆インクを使用しています。

Moving：ムービング
2010年10月1日発行（季刊誌）vol.61・62 合併号
発行：北九州市立男女共同参画センター "ムーブ"
〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号 TEL(093)583-3939 FAX(093)583-5107
制作・印刷：株式会社 西鉄エージェンシー　表紙イラスト：中島由紀子

Moving

北九州市立男女共同参画センター ムーブ 情報誌 ムービング

vol.61・62 合併号

ココロの声、話さないと伝わらないぞう。

Moving eye

なぜ、別れられない？パートナーから受ける被害について

"初期の段階で別れなかった理由（1位）"

- 配偶者からの場合
  女性　経済的な不安（28.4%）
  男性　世間体（32.4%）
- 交際相手からの場合
  女性　相手の反応が怖かった（21%）
  男性　相手には自分が必要だと思った（33%）

出所：内閣府男女共同参画局「男女間における暴力に関する調査」（平成20年10月～11月実施より）

特集

1. ムーブフェスタ2010 事業報告
2. DVを考える

contents

- ムーブフェスタ2010
- 平成22年度誌上講座第2回　雇用不安の時代をどう生きるか？
  「非正規雇用のマイナスを乗り越える」
  竹信　三恵子（朝日新聞 編集委員兼論説委員
- 「女性と暴力」
  信田　さよ子（原宿カウンセリングセンター 所長）
- 「デートDVについて知ろう！」カード　配布活動
- 講座実施報告
- お知らせ

ムーブ開所15周年記念事業

特集1

ムーブフェスタ2010 Move Festa

つなごう 若いカへ ～男女共同参画へのムーブメント～

遙（はるか） 洋子（ようこ） 講演会

「～仕事、恋愛、婚活、介護～ あなたのマイナスをプラスに変えてみませんか?」

女性の場合は、結婚、子ども、仕事をどうするのかなど、迷いが多いですね。私自身、悩みっぱなしの30年です。

でも、自分がやりたいことから出発するとなかなか手探りで手ごわい。そこで、自分の立ち位置を知った上で、かなう夢は何だろう、妥協できるところは何だろうと歩み寄りの戦略を練った方が効率的だと思います。ここでその戦略をお話します。

仕事について

男女平等で、女性も男性と同じように出世できる時代になったと言われますが、果たしてそうでしょうか。男女平等は、人によって実感が違います。私の場合、喋る技術と言うのは状況が変わっても、講演や執筆という形で生きています。「これをキャリアと言うんだ」とわかるのに10年かかりました。

今から働く、まさに働いている女性に戦略その1。世代が変わっても継続できるキャリアを磨いてください。

世代が変わって意味が無くなるのはしょせんその程度のものです。長く自分を生かしてくれるキャリアを磨いたほうが長期にわたってビジネスとして通用するということです。

仕事、恋愛について

両立している女性をメディアは拍手喝采で褒めあげます。でも、私は拍手を送ろうとは思いません。両立できなくて普通だと思うからです。「男女平等、女性も出世を狙いましょう」と仕事をしながら恋愛、結婚を目指したら、うまくはいきません。なぜなら、恋愛、結婚にはそれ相応のメンテナンスが必要だからです。結局、私はお付き合いした男性とのメンテナンスの継続ができませんでした。

そのとき女性学に出会いました。理由が知りたい。こんなに頑張っても何も手に入らない。この現実をどう理解すれば良いのか、救ってくれたのは女性学でした。

学問がこの訳の分からない社会を整理整頓して教えてくれました。それが東京大学の上野千鶴子ゼミです。3年間で500冊の文献を読みました。与謝野晶子、平塚雷鳥、ボーボワール、時代を超え、国を超え大勢の人たちが書き残した文献を読んでびっくりしました。なぜなら、私が理解できたからです。彼女たちの苦悩を。文献は、「君に原因は無い。社会に原因がある」ということを教えてくれました。それは大きな発見であり、私の人生の転機となりました。

戦略その2。勉強する。社会がどんな社会か知るということです。

戦略その3。幾つも世界を持っていただきたい。1個で全否定されても他で肯定してくれる世界を早くから持っていただきたいのです。

介護について

どんなに割り切って生きていこうと思っても割り切れないのが、自分の親や嫁ぎ先の親の介護です。介護をして実感したことは、ひとりで背負えるものではない、かと言って逃げられるものでもありません。また、介護は常に不完全なものです。必ず断念しなければいけない時がきます。そして、父母を見送った後は、十分に介護をしてあげたのかと自分を責めがちです。でも、私は父を見送った後、「みんなに迷惑をかけて好きに生きたね」と思えたので、介護が不十分でも家族は解放されました。

ところが、母を見送った後は、「辛抱だけの人生」という母の犠牲のもとに自分たちがあると思うと、解放されませんでした。

最後の戦略は、「好きに生きる」ということです。嫌われても良い、好きに生きてください。

これは、死にゆく者の礼儀です。迷惑かけても良い、次世代が見送った後にのびのび人生を謳歌できるような死に方を私もしたいと思います。

今後の仕事の目標について

話し言葉や見た目の印象、全てにポジティブなメッセージが送れるような仕事をしていきたいと思います。

オープニングイベント

ムーブは今年開所15周年を迎えました。オープニングイベントでは華やかな大人の女性おふたりが、ポジティブでカッコイイ生き方について語ってくださいました。

日　時　7月3日（土）　13：00～15：00
場　所　2階ホール
ゲスト　遙（はるか）　洋子（ようこ）氏（タレント・作家）
　　AHN（あん）　MIKA（みか）氏（ファッションモデル・タレント）

AHN（あん） MIKA（みか） 講演会

「美しく生きる ～自分を輝かせるためには～」

なぜモデルという仕事についたかというと、両親の影響がとても大きいです。

私の家庭では女性として目鼻立ちがきれいだという人が美人ということではなく、一緒にいて「この人といたら気持ちがいいな、清々しいな、なんでこの人と居るとこんなに明るい気持ちになれるんだろう」そういった人間力を身に付けた人が美人。そうなるための「4つの魔法」を母親に教わりました。現在もその4つの魔法を実践しています。

4つの魔法 ～その1～

1つ目は、お腹に力を入れて姿勢をよくするということ。見た目の印象もですが、健康にも密接につながっているということを知りました。

4つの魔法 ～その2～

2つ目は、相手の目を見るということ。自分の伝えたいことがあるときは相手の目をしっかりと見て話をする。人は5秒以上見ると緊張するので、私は相手と自分の間の距離に視線をおき、たまに相手の目を見たり、眉間の間に目線をおいたりしています。そうやって相手に自分が向き合おうとしている姿勢が大切なのです。

4つの魔法 ～その3～

3つ目は、口角を上げる。口角をずっとあげているとそれだけで嫌な印象の人はいない。あと笑顔は相手に移るんですね。笑顔の人を見ていて腹立つことはあまり無いと思います。

4つの魔法 ～その4～

4つ目は、相手に聞き取りやすい声と間合いで喋るということ。本当に聞いてほしい時ほど一拍おいて自分の心で深呼吸してから話をする。ゆっくり喋ると冷静に言葉の処理ができます。

魔法の効果

この4つの魔法をずっと実践していると母親がものすごく褒めてくれました。そして、褒められることによって私は少しずつ自信を持ちました。

大人になってわかったことですが、姿勢をよくすると小顔に見えるし、体は暖かくなり健康にも良く、所作も美しく見える。そして、相手の目を見て口角を上げると笑顔は人に移るので、一緒にいて朗らかな気分になる人に、そして心はポジティブになるのです。

それから、みなさんは知らず知らずのうちに生地やデザインなどその時々の社会のメッセージが込められた服を着用しているんですよ。これにプラスアルファ、もっと毎日を輝かしく楽しくするためには、自分の長所、弱点を知ってファッションなどを工夫することで目の錯覚を起こさせる。これでお互い褒めあう文化が生まれます。いつも持っている物を少し工夫するだけで発見が生まれ、コミュニケーションになります。

相手が自分のファッションについて1つでも言ってくれると、自分のことを認めてくれたという気分になりませんか。見てくれてないと思っていたら見てくれているんだ、だから別に贅沢して、すごくおしゃれしてないといけないとか、常にきれいにしておかないといけない、とかいうことでなく少し自分が気分を変えてみるだけでコミュニケーションの1つになるのです。

今後の仕事の目標について

在日韓国人という立場を生かし、日韓の懸け橋としてのお仕事を広げていきたいです。

他にも、恋愛やここだけの話（テレビ番組の裏側）など貴重なお話をお聴きすることができました。

イベント

つなごう　若い力へ ～男女共同参画へのムーブメント～

アカペラ、ボイスパーカッションコンテスト

日　時　7月10日（土）13：00～15：00
場　所　ムーブ1階 交流広場
ゲスト　原田（はらだ） 大地（だいち）さん（福岡スクールオブミュージック専門学校生）
司　会　ムーブフェスタ2010実行委員会

今年、開所から15周年を迎えテーマを「つなごう　若い力へ～男女共同参画へのムーブメント～」とし、次世代を担う若い世代の方たちに男女共同参画をもっと身近に感じていただき幅広い年代層の方にご参加頂きたいと考えました。

そこで、TBS「ミュージックアワー」、日本テレビ「行列の出来る法律相談所」など数多くメディアで活躍し、また「YouTube」で絶大な人気ボイパーの原田大地さんにゲストに来ていただきました。原田さんは小学校の時にフジテレビの「ハモネプ」を観た影響　により独学でボイパを習得し、現在メディアで多彩に活躍されています。音楽を通じて自分を表現している原田さんとトークを行いました。

トークの部

司　会　きちんと自分の目標を持っているし、小学生の時に感動したボイパに向けて一生懸命努力をして夢に向かって行くのはとてもいいことですね。大地君は音楽の専門学校に通っているそうですが、今後の進路について話したりしますか？

原　田　専門学校のいい所は、大学とは違いひとつの夢に向かい一致団結して頑張っていくところです。学校の友達からはいろいろな刺激を受けます。

司　会　今日は大地君のお父様がいらっしゃっています。最近の息子さんの活躍についてどうですか？

原田（父）　おかげさまでなんとかやってはいるようですが、やっと20歳になったばかりですから、みなさんこれからも応援していただければと思います。自分の息子のライブを見たことがないので、今日はチャンスだと思って来ました。

司　会　息子さんが音楽学校に進みたいと言ったとき、どうでしたか？

原田（父）　絶対反対でした。正直、音楽だけで生活できるのはごく一部の人だけだろうと思いました。普通の学校に行って普通の人生を選んだほうがいいのではないかと思いました。「音楽でやっていくのなら、結果を出せ」と言ったら、メディアに出たりと親を納得させる結果を出してきたので、本人の意思の強さに負けまして、「好きなようにやれ」ということに。

司　会　大地君がしっかりしているのはお父様の一言があったからかもしれませんね。

原　田　自分の意思も固まって、自分が何をやりたいかがわかってきて、それをぶつけても理解してくれました。心配もしますが応援もしてくれるので頼りにしています。

原田 大地さん

司　会　一番の応援団ですね。親子の間で理解しあうのはとっても大事です。今後も日本と言わず世界で活躍してください。今日は本当にありがとうございました。

ライブ

CMで耳にしたことのあるボイパの披露や会場とのコミュニケーションなど、原田さんが奏でる多種多様な音に会場は感動につつまれました。

コンテスト、表彰式の部

13組の参加者がアカペラやボイスパーカッション、ソロ、グループで競い、とてもレベルの高いコンテストとなりました。

▲ 左から特別賞GINTAさん、最優秀賞YABUKINGさん、原田大地さん、優秀賞SiMさん

サマーカーニバル

7月17日（土）10：00～16:40

14の団体がダンスや舞踊、ファッションショーなど、パフォーマンスを繰り広げました。

7月3日（土）～25日（日）

市民企画事業

市民企画事業は、市民の皆様が企画・実施する手作りの市民参加型事業です。

参加団体には、会場や備品の無償提供を行っております。また、「男女共同参画社会の形成」等をテーマに実施する団体には、ムーブが事業費の一部を助成し活動を支援しました。なお、今年度は120の団体・個人が参加しました。

講演会、映画上映会、作品展、コンサートなどのイベントをムーブ館内にて連日開催。

フリーマーケット

ムーブフェスタ期間中毎日開催。今年も手作りのお菓子や雑貨などのフリーマーケットが出店。

7月17日（土）13:00～14:00

防犯力パワーアップ教室

本当に大丈夫？

背後から抱きつかれたら暴れるのではなく、まず「前にならえ」の姿勢を取り相手の腕を払い除け、しゃがみ込みながら相手の腕から逃げるなどの「セルフディフェンス（護身術）」を学びました。また、「間違いだらけの防犯対策」として、具体的な防犯例を通し、日頃、安全だと思い込んでいる防犯ガラスや頑丈な鍵について、その落とし穴に気付かされました。どちらも目から鱗が落ちるような体験でした。日頃からの地域の人々とのコミュニケーションが、最も大事な防犯対策につながるということを学びました。

北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”、北九州シェルター共同事業

「DV被害者支援を考える」シンポジウム

●日　　時　7月9日（金）18：30～20：40
●会　　場　ムーブ5階 小セミナールーム
●テ ー マ　高齢DV被害者のエンパワーメントをめざす活動
・高齢DV被害者の生活再建への援助
・現状における問題点
・行政との連携の仕組み
・これからの活動に向けて

●シンポジスト（敬称略）
梛尾（なぎお） 和枝（かずえ）（S・ぱーぷるリボン協同代表）
石本（いしもと） 宗子（むねこ）（S・ぱーぷるリボン協同代表）
●コーディネーター
冨安（とみやす） 兆子（よしこ）（北九州シェルター代表代行）

高齢者が家庭内で虐待を受けたと判断される事例報告は年々増加傾向にあり、被害者の3/4は女性、しかも80歳代が4割を占めるなど、事態は深刻化しています。厚生労働省虐待防止対策推進室も「地域や関係者の支援ネットワークの構築等の対応が必要」という見解を示しています。そこで現状を男女共同参画基本計画の重点分野の1つである「女性に対するあらゆる暴力の根絶」に即して考察するために、今回のシンポジウムを開催しました。

福岡県久留米市の「S・ぱーぷるリボン」協同代表がシンポジストとしてDV高齢者支援とその後のプロセス、関連行政機関の構成と連携システムの報告を行いました。同団体は行政内外の関連組織との連携システムが効果的に稼動した結果、シェルターやDV被害者支援能力を充実させ、全国のモデルとなるレベルの活動を行っています。

福岡市、宗像市等からの参加者も含め、一般市民や行政担当者、DV支援活動関係者など約60名の参加があり、熱のこもった意見交換もできました。アンケートでは、知らなかった分野のことがよく理解できた、支援システムの存在の周知が大切だと思った、熱心な活動に感動した、DV支援活動に参加したい、高齢者を支えるのは高齢者だから自分（60歳）も支えることができるかもと勇気が湧いてきた、などの意見が寄せられました。